

### 改訂版MDTガイドライン完成

2011年6月に完成したMDT実践ガイドラインのその後活用状況をMDTメンバーに対して質問票で調査し、また2012年5月25日の改訂作業会であげられた変更箇所などが反映された改訂版MDT実施ガイドライン（タイ語）が完成しました。改訂前との大きな違いは①タイ政府と一緒に活動しているNGO一覧とその連絡先、②性産業に従事させられた人身取引被害者が保護のプロセスで受けがちな二次被害について、③人身取引被害者が裁判のために長期に渡ってタイに滞在する場合、一定の条件の下で働くことができるという政府の通知などの情報が含まれていることです。ガイドラインの活用度が今まで以上に高まることが期待されます。



(写真：完成したガイドライン)

### メコン地域人身取引情報収集・確認調査 (6/2-6/5)

メコン地域での人身取引対策の協力の可能性を調べるための情報収集・確認調査が始まりました。調査を行うコンサルタントとして当プロジェクトの初代チーフアドバイザーであった織田由紀子さんが最初にタイで調査を行い、タイにおける人身取引対策に関する現状や課題、そしてメコン地域での人身取引対策の協力体制などを確認されました。

今後はカンボジア、ラオス、ミャンマー、ベト

ナムを回り同様の情報を収集・確認されます。



(写真：JICA タイ事務所での聞き取りの様子：右手前：織田コンサルタント)

### LOL リーダーシップ研修 (6/21)

Foundation for Women (FFW) 主催で Live our Lives (LOL) の主要メンバーを対象としたリーダーシップ研修が行われ、その初日の6月21日にチーフアドバイザーの百生が参加してきました。同リーダーシップ研修の内容は、①LOLとジェンダーについて、②人権と当事者中心アプローチについて、③LOLの組織の強み、弱みなどの分析、④LOLの今後について、でした。この研修の主要講師はFFWの代表のシリポンさんでした。FFWは1984年に創設され、タイでは女性関連の問題に焦点を当てている老舗NGOです。

初日は彼女がジェンダーを分かりやすくLOLのメンバーに説明するために、①女性として生まれてきて幸せと思うことは何か、②女性として生まれてきて不幸だと思ったことは何か、③女性としての人生はどうか、という3つの質問に対して答えることでした。

1番の質問に関しては、「女性は責任感が強く、我慢強く、誠実で犠牲的精神があって男性よりも素晴らしい」という意見がたくさん出ました。2番の質問に対しては、「女性は家族の責任を全て負わされる。女性は男性の怒りのはげ口になる。女性は弱く、能力もないと思われ、決断させてもらえない。男性は好きな時に好きな場所に行けるが、女性はどこへ行くにも許可を得なければなら



(写真: ジェンダーについて LOL メンバーの意見を書き出すシリボンさん)

ず、移動の制限がある」などの意見が出ました。

3番目の質問に対しては「女性の方が男性よりも賢いから女性に生れてきて良かった。女性の方が家族の幸せに貢献できるし、家族が幸せだったら自分も幸せなので、女性に生れてきて良かった」というコメントが大多数でした。

講師は「皆、女性に生れてきて幸せだと言うけど、女性に生まれてきて嫌だったことはないのか」と聞くと、「女子に教育は必要がないと言われて、高い教育を受けることが出来なかった。何かしたくても、いつも我慢しろと言われてきた。きちんとして見られることが大事だと言われ、常に行動が制限され、やりたいことができなかった。結婚したくないのに結婚しろと言われる」と言っていました。「では、女性がこうあるべき、って誰が決めるのか」と講師が聞くと、「文化、伝統、社会、宗教、思い込みと偏見」という言葉が出ました。講師から「ジェンダーは男と女だけではなく、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー (LGBT) も含まれます。最近、フランスでも同性婚が法律で認められたが、どう思うか」と聞くと、一様に「いいことだと思う。私の娘はレズビアンです」、「私も最近女性と暮らし始めました」などのコメントが出ました。

同研修に参加したのは LOL のメンバーのリー

ダー格の 12 人で、平均年齢は 35 歳くらいで、1 人を除いて全員東北タイ出身でした。ほとんどの参加者最終学歴は小学校卒です。1 人を除いて、全員海外で性的搾取に遭った女性たちでした。彼女たちは、貧しく、世間を知らない若いうちに騙され、女性だったから性的被害に遭っているにも関わらず、女性に生れてきて幸せだとポジティブに言っていたのが印象的でした。

3 日間の研修のうちの初日しか参加しなかったのですが、最終的にはどういう結論になったのか分かりませんが、同プロジェクトでは、8 月にジェンダーワークショップを開催し、なぜ人身取引対策に携わる職員がジェンダーの視点をもって仕事に取り組まなければいけないかがテーマなので、LOL のメンバーのジェンダー観を聞くことができ、有益でした。



(ジェンダー視点で写真をみて、そこから何が読み解けるかの演習の様子)

同通信はプロジェクトの進捗状況及び関連情報をお知らせする目的であり JICA やカウンターパートの見解を示すものではありません。禁転載。